

国労東日本

港区新橋5-15-5
交通ビル4F

国労東日本本部

発行責任者 菊池忠志
編集責任者 樋口孝重

2017年
6月5日
NO. 86

ダイジェスト版

つなげよう
(わざ) (ところ)
技術と魂と
運動を
HP <http://www.e-nru.com/>

6月5日 第2回 「夏季手当交渉」開催!

JR30年の節目であり、 365日「安全・安定」輸送を担ってきた社員還元への決断を!!

〔組合〕

設備投資も大切だが、それを支えている社員やグループ社員、今こそ「人」への投資が必要である！
JR30年、社長も「自主自立」経営の大切さを言っているが、そうした立場に立ち、会社発展に寄与してきた現場社員の奮闘に見合う回答を求めろ！

この間、高い低いは別にして労働条件の向上は行ってきた。発足当初から比べれば、給与水準や期末手当の水準も上がってきたことは事実であり遜色のない数字である。自主自立といえども社会の一員であり、世間相場を踏まえて検討していく。30年間の頑張りには感謝を申し上げる。

〔会社〕

< JR東日本会社より基本的スタンスが示される! >

大局的な経営の観点から業績動向を踏まえつつ、経営環境の変化や平成24年度に実施した人事・賃金制度及びこの間将来の経営に影響のある賃金改善を4期連続で実施していること、それにより期末手当の算出基礎である基準内賃金が増加していることも含めて統合的に判断していく必要があると考えている。特に、当社は、お客さまにご利用していただくことで鉄道事業を運営している、高い公共性を有した企業であることから、世間に突出感を与えることないよう留意すべきである。

2017年度通期業績についても、今年度決算を上回る予想数字が示されている。

組合とすれば昨年ベースに留まるものではないと認識をする。

社員に対するモチベーションの観点からの 経営判断を求めろ!